学校だより
ゆめは大きく
尾張旭市西の野町５丁目１番地 https://www.owariasahi.ed.jp/asahi-e/

尾張旭市立
旭小学校
第８号
令和８年
１０月２６日

TEL 0561-53-2035

競争を超えた「共創」のドラマ



爽やかな秋晴れのもと、保護者や地域の皆様の温かいご声援に包まれ、今年度の運動会を無事に終えることができました。子どもたちに温かい拍手を送り、頑張る姿を支えてくださったこと、また、安全な運営にご協力いただきましたことに、心より感謝申し上げます。

本校では、運動会を単に勝敗や見栄えを競う行事ではなく、日々の学びの延長として捉え、子どもたちが主体的に取り組み、成長する姿を大切にしてきました。そのような子どもたちの姿を、保護者の皆様にも感じていただけていたら幸いです。

10月の学校集会では、子どもたちに3つの大切な「想い」を伝えました。

1.勝ったからえらい、負けたからダメじゃない
一番すてきなのは、勝ち負けにかかわらず、最後まであきらめずに一生懸命走ること。そして、友達の頑張りを認め、心を込めて応援すること。

2.一人の「自慢」より、みんなの「やったー!(達成感)」
一人だけが得意気になる(優越感)のではなく、仲間と力を合わせて目標をやり遂げる喜び(達成感)を大切にすること。

3.終わったら「ノーサイド」(勝負はその場限り)
競技中は全力でたたかっても、終わったら「敵も味方もなし!みんな仲間」に戻り、お互いを大切に想い合うこと。

運動会当日のグラウンドにあったのは、勝ち負けだけに一喜一憂する姿ではありません。学年や赤白青の枠を超えて仲間と心を一つにし、みんなで運動会を創り上げようとする姿でした。まさに、互いに競い合う「競争」を超えて、仲間と一緒に新たな価値を生み出す「共創」の姿が、随所に見られました。全力を出し切った後、勝ち負けを超えて「一緒によく頑張ったね!」と互いの健闘をたたえ合う姿。そこには、相手を認め、尊重するという、運動会を通して子どもたちに身に付けてほしい大切な学びがありました。

自分たちの手で運動会を創り上げ、最後までやり遂げたという本物の「達成感」は、子どもたちの心に「自分はやればできるんだ」という自信を育みます。誰かと比べて自分の優位性を感じるのではなく、仲間と共に力を尽くした喜びや達成感こそが、自分を信じ、自ら考えて行動していくための大きな力となります。

運動会という大きな経験を通して、子どもたちは一回りも二回りも成長しました。この経験で得た仲間を思いやり、互いを尊重する気持ちを大切にしながら、2学期後半の学校生活も、全職員で子どもたちの成長を温かく支えてまいります。

今後とも、本校の教育活動へのご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

校長　岩下　徹